

2023年2月古希展

李白・杜甫 と テレサ と 親鸞 と BEATLES



春望 杜甫	2
春曉 孟浩然	2
黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る 李白	3
衛命還国作 晁衡	5
哭晁卿衡 李白	6
勸酒 于武陵	8
勅勒の歌 敕勒族の民謡・斛律金詩	9
垓下の歌 項羽	10
雨中嵐山 周 恩來	10
テレサ物語	11
歎異抄 親鸞聖人	14
HEY? JUDE(祖国の自由) BEATLES	15

春望 杜甫

国破山河在	国破れて山河在り
城春草木深	城春にして草木深し
感時花濺淚	時に感じては花にも涙を濺ぎ
恨別取驚心	別れを恨んでは鳥にも心を驚かす
烽火連三月	烽火三月に連なり
家書抵萬金	家書萬金に抵る
白頭搔更短	白頭搔かけば更に短く
渾欲不勝簪	渾べて簪に勝えざらんと欲す長安の都は賊軍のために

破壊され、あとには山と川だけが昔のままに残されている。その荒れ果てた城内に、また草木が生い茂る春が到来した。しかし、この戦乱の時節に私は感極まって、春の花を見ても涙が落ち、家族との別離を悲しむあまり、鳥の声にも心が動ぜずにはいられない。戦いを告げる烽火(のろし)は三カ月もの間、絶えることなく、遠く離れた家族からの手紙は、なかなか届かないので、万金にも値するほど貴重なものだ。老いと心痛のため、私の髪はますます白く短くなり、もはや冠をとめるピンもさせなくなりました。アジア太平洋戦争が、敗戦に終わり、中国や南方の戦線で敗戦を迎えた日本軍兵士は、続々と復員してきます。久しぶりに見た故郷の姿は、まさに春望に描かれた世界でした。このため、春望は当時の日本人の心をとらえて、一躍有名な漢詩となりました。

春曉 孟浩然

春眠不覺曉	春眠曉を覺えず
處處聞啼鳥	處處啼鳥を聞く
夜來風雨聲	夜來風雨の聲
花落知多少	花落つること知りぬ多少ぞ

(意味)春の眠りの心地よさに
夜の明けるのにも気がつかずにうとうとしていると
あちこちに鳥の鳴き声が聞こえる

昨夜は雨風の音がしていたけれど
花はどれほど散ったのだろう

「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」李白

原文・書き下し文

故人西辞黄鶴楼

故人西のかた黄鶴楼を辞し

烟花三月下揚州

烟花三月揚州に下る

孤帆遠影碧空尽

こはん へまきう
孤帆の遠影 碧空に尽き

唯見長江天際流

唯だ見る長江の 天 際 に流るるを
てんさい

現代語訳

古くからの友人が西にある黄鶴楼に別れを告げ

春霞の美しい三月華やかな揚州に下っていく

はるかかなたにポツンと見える帆影は青緑色の空間に飲み込まれ

長江が天の果てに流れていくのだけが見える

解説

黄鶴楼は今も昔も有名な観光地。湖北省の長江の南側にある樓閣で、呉の223年に創建。当初は軍事上の見張り台でした。その後焼失しては何度も再建され、李白が孟浩然を見送った頃は長江の絶景を見下す宴会場だったと言います。

故人とありますが、これは死者のことではなく「古い友人」です。李白と孟浩然是この黄鶴楼で今までにも何回か会い、お酒を酌み交わしていたのかもしれない。その孟浩然是ここ黄鶴楼に別れを告げます。

煙は春霞を指し、煙花は花々が咲き乱れる美しい春霞の光景のこと。旧暦三月は今ですと三月下旬から五月上旬ごろ。まさに春らんまんといった季節です。

揚州は長江沿岸の港町で、交易で栄えた華やかな都市です。1句2句では美しい季節、華やかな町に向かって旅立つ友を歌っています。

詩の後半になると、別れとはいえどこか浮き立つ詩の調子が一変します。友はずではるかかなた。当時の船は帆掛け船、帆影がポツンと見えていたのもつかの間たちまち碧空に消えていきます。碧空は青空ではなく美しい青あるいは青緑色の空間です。そして長江が天の際に流れていく姿だけが見えるというのです。美しいけれどもなにか喪失感を感じさせる情景です。交通がきわめて不便だった当時の別れは、今の別れからは想像がつかないくらい喪失感の深いも

のだったことでしょう。また会えるかもしれない、けれどももう二度と会えないかもしれない…。別れの意味は軽くはありません。春霞の下の真っ青な、海のような大河。友は確かにここにいたのにいつの間にか視野からは消えてしまった。見えるのは永遠に流れ続ける長江のみ。悲しみというより虚無感のようなものが感じられます

衛命遺国作 朝衡

原文・読み下し文

- 衛命將辭國 命(めい)を衛(ふく)み將(まさ)に国を辞せんとす
非才忝侍臣 非才ながら侍臣を忝(かたじけの)うす
衛命將辭國 皇帝陛下の命令を受けて今から国を出ようとしている
衛命將辭國 命(めい)を衛(ふく)み將(まさ)に国を辞せんと
非才忝侍臣 才はなかったが。ありがたく陛下にお仕えしてきた
天中戀明主 天中明主を恋(おも)い
海外憶慈親 海外慈親を憶(おも)う
伏奏違金闕 伏奏(ふくそう)して金闕(きんけつ)を違(さ)り
駢驂去玉津 駢驂(ひさん)して玉津(ぎょくしん)を去らんとす
蓬萊郷路遠 蓬萊(ほうらい)郷路(きょうろ)は遠く、日本へ帰る道は遠いが
若木故園鄰 若木故園の隣(となり)

西望懷恩日 西を望み恩を懐かしむ日

東歸感義辰 東へ帰って義に感ずる辰(とき)

平生一寶劍 平生(へいせい)一宝劍

留贈結交人 留め贈る交を結びし人に

《現代語訳》皇帝陛下の命令を受けて今から国を出ようとしている。才はなかったが、ありがたく陛下にお仕えしてきた。陛下は天下から賢明な君主として慕われ、海外からは、慈悲深い親のようにおもわれている。陛下に伏して奏上して、宮殿を辞するお許しを得た。馬車に乗り、立派な港から旅立つ。日本へ帰る道は遠いが。

未熟な若木のような日本は、立派な園である唐の隣にある。西を望んで、陛下のご恩を懐かしむ日があり東の日本に帰って、義に感謝する時もある。私が平素から大切にしていた一振りの宝劍を親しく交わった友に贈ろう

哭晁卿衡 李白

原文・読み下し文・現代語訳

日本晁卿辭帝都 日本の晁卿 帝都を辞し日本の晁卿は帝都長安を去り

征帆一片遶蓬壺 蓬壺を遶(めぐ)る

明月不歸碧海沈 明月帰らず碧海に沈み ところが明月は帰らずして緑の海に沈んでしまい

白雲愁色滿蒼梧 白雲愁色滿蒼梧蒼梧(さうごい)の色が蒼梧の地に満ち

【評】阿倍仲麻呂が難破して死んだという誤報に接して作った哀悼の詩。

コメントの追加 [01]:



解説

阿倍仲麻呂は、10代の若さで遣唐使と共に留学生として、渡航・入唐し猛勉強で科挙試験に合格します。当時の大帝国「唐」の第三代玄宗皇帝、妻の楊貴妃も絶世の美女として有名ですが、皇帝から中国名「晁衛（CHAO・WEI）」を下賜されて秘書に登用され、皇帝に使えると共に、李白・杜甫・王維・白居易ら当代の一流の詩人とも交流を深めました。

滞在が長くなると共に望郷の念が強くなり、百人一首第7首「天の原…いいでし月かも」を詠みます。同意味の漢詩も長安に残しています。仲麻呂（晁衛）は、何度も皇帝に帰国を希望して、皇帝の使者として帰国船に乗ります。ところがこの船が嵐に逢って遭難し、仲麻呂も死亡したものと長安に伝わります。

この報告に接した詩仙（酒仙）・李白は、「哭晁卿衛」《晁卿衛を哭す》という漢詩を読んで、仲麻呂を追悼します。李白は仲麻呂が「いいでし月かも」と呼んだことを念頭に、「名月帰らず」と呼んでいます。見事です。

仲麻呂の乗った船は奇跡的にベトナムに漂着、彼は長安に帰り、73歳で病没するまで、皇帝に仕えました。

2019年9月西安へのツアー旅行に参加して訪問、当地で空海と共に彼の人気が高いことをしりました。長安の中心部には皇帝が過ごした公園が残され、その一角に仲麻呂記念館が作られていました。

私たち日本人ツアーが訪問すると、長安市書道（中国では書法）協会副会長李慶胤（LI・JININ）先生が、私たちの目の前で仲麻呂と李白の漢詩を草書で条幅に書いて下さりました。その作品を譲り受けました。

「日本の皆さんも書いて下さい」と水を向けられるままに、筆を執って、「天

の原ふりさけみれば春日なる三笠の山に出でし月かも」をかな条幅にかきました。即席の日中」書道交流になりましたが、心臓はバクバクでした。作品は当館に寄贈しました。

勸酒 于武陵

勸君金屈卮(※1) 君に勸む金屈卮

満酌不須辞 満酌辞するを須いず まんしゃくじするをもちいず花 発 多

花(※4)発多風雨 花発けば風雨多し 花開けばふううおおし

人生(※5)足別離 人生別離足る。じんせい べつりたる

現代語訳(口語訳)

あなたに勧めよう、この金の杯を。

杯になみなみと注がれた酒を遠慮する必要はない。

花が咲くと雨や風(にさらされること)が多くなるように
人の世も別ればかりが多いものだ。

言葉の解説

(※1)金屈卮 曲がった柄のついた黄金の杯

(※2)満酌 杯になみなみと注がれたお酒

(※3)不須 「～もちいず」と読み、「～する必要はない」と訳す

(※4)発 「(花が)咲く」という意味

(※5)足 「多い」という意味

井伏鱒二 訳

この杯を受けてくれ どうぞ並々とつがしておくれ

花に嵐の例えもあるぞ サヨナラだけが人生だ。

*この訳の最後の一節を太宰治が好んで使ったために、この詩は有名になりました。

勅勒の歌

甘肅省から内蒙古一帯に住んでいた勅勒族の民謡

斛律金（こくりつきん・北斉）の詩

原文・読み下し文

勅勒川陰山下

勅勒の川 陰山の下

天似穹廬籠蓋四野

天は穹廬に似て 四野を籠蓋す

天蒼蒼野茫茫

天は蒼蒼 野は茫茫

風吹草低見牛羊見

風吹き草低れて 牛羊見わる

現代語訳

- ちよくろくのうた<むめいし>
- ちよくろくのかわ いんざんのもと
- てんはきゅうろににて しゃをろうがいす
- てんはそうそう のはぼうぼう
- かぜふさくさたれて ぎゅうようあらわる

(解説)

救勒の草原は陰山山脈の麓に横たわり、大空はバオのように四方の平野におおいかぶさっている。

空はどこまでも青く、野原は果てしなく広がり、風が吹いて草が低くなびくと、平原のあちこちには放牧された牛や羊の姿があらわれる。

垓下の歌(かいか歌) 項羽

力拔山号 気蓋世 力は山を抜き 気は世を蓋う
時不利 号駢不逝 時に利あらず 雖逝かず
駢不逝 可奈何 雖の逝かざるを奈可すべき
虞号虞号 奈若何 虞や虞や 若を奈何せん

(解説) この歌を詠んだ項羽は紀元前秦末期の長江中流域にあった「楚」国の武将で後に漢の皇帝となる劉邦と覇権を争います。形勢は項羽に不利で、敵陣中からは捕虜になった部下達が歌う母国の歌が聞こえてきます。「四面楚歌」という故事はここから生まれます。

敗北を悟った項羽は、最後の酒宴を開き、席上で「垓下の歌」を歌います。漢詩はこれから出兵する将兵が歌った勇ましい歌が多いのが、この歌は珍しく敗軍の将の歌です。その意味で貴重な歌です。

「駢」というのは、項羽の愛馬で、駢も動かず、「虞」にどうすればよい、と愚痴をこぼします。虞は項羽の妻で、中国四千年の歴史で4代美人の一人に上げられます。どれほどの美人だったのでしょうか。

この後、敗北を覚悟した項羽は自害します。虞も後を追います。虞の流した地で大地は真っ赤に染まります。その場所に咲いた花は真っ赤な花でした。人々は「虞美人草」と名付けました。

雨中嵐山

雨中二次遊嵐山 雨の中を二度嵐山に遊ぶ

兩岸蒼末 狹着幾 株桜 兩岸の蒼き松にいく株の桜がまじる

至書処突見一山高 道の尽きるや ひときわ高い山見ゆ

流出泉水緑如許 繞石照人 流れ出る泉は緑に映え石を巡りて人を照らす

瀟瀟雨 霧蒙濃 雨瀟瀟として桐深く

一線陽光穿雲出 愈見姣妍 陽の光が雲間より射して いよいよなまめかしい

人間的万象審理 愈求愈模糊世のもろもろの真理は 求めるほどに模糊とするも

模糊中偶然見着一点光明 模糊の中にたまさか一点の光明を見出せば

真愈覚姣妍 まこと、いよいよなまめかしい

(解説)2022年は1972年の日中国交正常化から50周年という事で、様々なイベントが行われ、特集番組が放映されました。中国革命の立役者は、何といても毛沢東主席で、偉大な思想家・哲学者でした。しかし、どんなに優れた思想も、実務家が居なければ、形になる事は出来ません。その意味では、周恩来は毛と共に行動した実務政治家でした。「毛主席あつての周総理、周総理あつての毛主席」という関係でした。2人は、日中戦争の勝利が確実にされた直後から、将来の日中関係の正常化・国交回復を展望していました。故に、BC級戦犯裁判で、一人の死刑・無期懲役の判決を下しませんでした。日本側に賠償を求めないことも表明していました。そして、周総理「以民促官」のスローガン(民が官を促す)の下に、日本の経済人や文化人を中国に招待して、地ならしを進めます。

この時に、1917年から3年間、周総理自身が日本に留学した経験が役に立ちます。留学後半は、京都に住んでいました。「雨中嵐山」は嵐山を見学に行ったときに詠んだ漢詩です。

テレビ物語

～月亮代表我的心・月は私の心を表している～

尔问我愛尔有多深 我愛尔有分～あなたは私にどのくらい愛しているのか と聞く

我的情也真我的愛也真 ～私の想いも本物で私の愛も本物なの

月亮代表我的心 月は私の心を表している

尔问我愛尔有多深 我愛尔有分～あなたは私にどのくらい愛しているのか、と聞く

月亮代表我的心 月は私の心を表している

輕輕的一吻輕打動我的心～軽いキスはすでに私の心を動かしている。

深深的一段情 教我思念至如今～深い思いが私に今のような気持にさせたの

尔去想一想尔去看一看 月亮代表我的心～ちょっと考えてみてちょっと見てみて 月は私の心を表している

輕輕的一吻輕打動我的心～軽いキスはすでに私の心を動かしている。

深深的一段情 教我思念至如今～深い思いが私に今のような気持にさせたの

尔问我愛尔有多深 我愛尔有分～あなたは私にどのくらい愛しているのか、と聞く

尔去想一想尔去看一看 月亮代表我的心～ちょっと考えてみてちょっと見てみて 月は私の心を表している

～我的家在山的那一那邊～私の家は山のこう

我的家在山的那一那邊 那兒有茂密的森林～私の家は山の向こうにあるそこには豊かに茂った森があり

那兒有無邊的草原～そこには果てしなき草原があり

春天播種稻来的種子 秋的收等待著新年～春には稲や麦の種子を撒き秋には刈り取り新年を待つ

張大叔從不發愁 李大叔永遠樂觀～張叔父さんは愁いが無く李おばさんはいつも樂觀的

自從洞狸鼠出來狸鼠密洞 一切都改變了～密洞から狸鼠がでてきてからは、一切がすっかり変わってしまった

佢嚼食了深埋的枯骨 侵毒了人生的良善～そいつは深く埋もれていた人骨を食った。切がすっかり変わってしまった

我的家在山的那一邊～私の家は山のこう

張大叔失去了觀樂 李大叔收藏了笑顏～李おばさんは、笑顔をしまいこんだ。

鳥兒飛出溫暖的窩 天變成寒冷的冬天～鳥は暖かな巣を飛び立つ。は寒冷の冬へと変わった

親友面失去了自由 棄了美麗的家園～親しい友達には自由を失った。麗なる団樂を捨て去った

朋友不要因一時歡樂 朋友不要因一時安逸～よ一時の歡樂を貪るなかれ、友よ一時の安逸を貪るなかれ。

要蓋快的回去 芭民主的貼燃～できるだけ早く帰って民主の火を燃やそうよ

不要忘了我倆生長的地方 是山的在一邊是山的在一邊～我らの育った所を忘れてはいけない。それは山の向こうにある。山の向こうに

解説

テレサは、1952年、台湾で生まれます。少女期から歌手活動を初め、台湾・香港・シンガポール等中国語圏でトップスターになります。これに着目した日本の芸能プロが、日本で歌手デビューさせるや、「月亮代表我的心」（月が私の心を映している）等のヒットを連発します。両親の出身地（本土河北省）の北京政府は、最初は「彼女の歌は 扇情的との理由で禁止していましたが、地下で広がる人気に押されて「両親は大陸出身」との宣伝を行います。この頃、中国では「中国は二人の鄧が支配している「昼は鄧小平、夜は鄧麗君、と言われる程に有名になります。

こうしてテレサは、北京・台北両政府の争奪戦に巻き込まれます。この点についてテレサは、「私は何処にいても、チャイニーズです」と答えます。

1989年4月、北京の天安門広場で民主化を求める学生たちの運動が激しくなり、同年5月香港で民主化運動を支援するチャリティー・コンサートが開催され、ジャッキー・チェンら人気歌手が多数登場して、北京の学生らの民主化運動支援を訴えます。最後にテレサが飛び入りで登場します。

白の綿シャツにGパン、「民主万歳」としてした白鉢巻といういで立ちで、颯爽と登場し、「我的家在山的那一邊」（我が家は山の向こう）を歌いあげます。この曲は、抗日戦争の最中に、抗日軍兵士の中で歌われた歌です。詩は実に中国らしい歌詞です。

大陸の庶民の間で歌い継がれた曲をテレサは歌い上げます。その年後、「北京でコンサートを開きたい」との夢を果たすことなく、1995年42歳で永遠の眠りにつきました。

この文章は、公に報道された情報を米今が編集・構成しました。

歎異抄と親鸞聖人と浄土思想

浄土真宗の開祖親鸞の言葉を弟子の唯円たちが文章にした「歎異抄」は、仏教の経典としてだけでなく、文学的にも「当時の時代にあっては世界的に美文」との文学的な面でも高い評価を受けています。

でも、何とんでも「善人なおもて往生を遂ぐ、いわんや悪人をや」（第 章、悪人正機説）の一節が有名です。「いわんや善人をや」ならわかりますが、この一節には様々な解釈があります。

人には身分に関わらず、生・老・病・死の4苦が付いて回ります・この苦しみから逃れるために仏教があるのですが（仏教だけでなく、全ての宗教の存在意義がこの点にあります）、ところが平安時代までの仏教は、裕福な貴族身分が仏教を独占していました。こうした中で、日々働いている低い身分の庶民こそが救われるべき、との考えから鎌倉仏教各派が生まれます。朝廷や貴族は、この思想を憎悪します。とりわけ「厳しい修業をしなくても、念仏を唱えるだけで、救われる」と説いた浄土3宗（浄土宗＝法然、浄土真宗＝親鸞、「踊り絵図」で有名な時宗＝一遍）は庶民の間に瞬く間に広がり、故に朝廷から目の敵にされ弾圧されます。法然や親鸞は流罪、その多くの弟子は死罪に処せられます。法然は「一切衆生平等往生」を掲げます。つまり、全ての人間は死ぬときは平等に死ぬ」と言うのです。これを発展させたのが弟子の親鸞の悪人正気説で、悪人こそ浄土に行ける」と説いたのです。

「人間は皆、自由で平等」との現代の思想は、1789年フランス革命によっ

て生まれた」と言います。しかし、その五百年も前に親鸞は自由・平等の思想を掲げたのです。この親鸞の思想は、弟子の蓮如上人によって、具体化します。親鸞と同様に都を追われた蓮如は、関東地方を説教の旅をしながら、全国に手紙を送り親鸞思想を流布します。その「ご文書」です。蓮如は浄土真宗を強大な教団に育てます。これに激怒したのが、信長です。「天下不武」（武士の世を作る）を掲げた信長に対し、自由と平等を掲げた真宗門徒が反乱を起こします。一向一揆です。加賀の一向は、百年にわたってコミュン政府を作り自治を行います。雑賀の一向宗は、大阪港の荷役労働を担っていました。荷役は大変な重労働です。体に障害のある人には難しい仕事です。雑賀衆は障がい者には、大阪湾に出入りする船を見張らせる仕事をさせ、荷役と同じ賃金を払いました。一向宗と信長の闘いは、最後は石山寺決戦になります。本願寺派は、中国の毛利に救援を要請します。これに応じて毛利は安芸門徒から百万石もの大量の糧秣を集めて、大阪に送ります。その輸送船団の警護にあたったのが、村上水軍です。安芸門徒は教儀を信じただけでなく、金を出し合って「コウ」という相互生活扶助組織を作って、貧しい人を助けました。一向宗の強さはこうした点にありました。従って、親鸞聖人の思想は、日本の仏教史上だけでなく、日本小社会思想史上の面からも、その足跡について、もっと高く評価されるべきだと考えます。この見解は真宗教団の公式の見解ではなく、あくまで米今個人の見解です。

HEY? JUDE(祖国の自由) BEATLes、

チェコ語のカバー詩の日本語訳

ねえ、ジュード、甘い囁きは心地良いけどそれだけじゃない。

「韻」の終わりがある全ての歌の裏には「陰」があって、私たちには教えてくれない。人生はすばらしい。人生は残酷。

ねえ、ジュード。人を信じなさい。人生は私達に傷と痛みを与え、時として傷口に塩をすりこみ、杖が折れるほどたたき。人生を操るけど悲しまないで。

ねえ、ジュード、あなたには歌がある。みんながそれを歌うと、あなたの目が輝く。そして、あなたが静かに口ずさむだけで、全ての聴衆は、あなたに引きつけられる。あなたはこっち、私は向こうに歩き出す。

ねえ、ジュード、あなたと遠く離れていても、心はあなたのそば。私はなすすべもなくあなたの歌を聴く自分を恥じる。

神様、私を裁いて下さい。私はあなたのように歌う勇気がない。

ねえ、ジュード、あなたは知っている。口がヒリヒリ石をかむような辛さを。あなたの口から綺麗に聞こえてくる歌は、不幸の裏にある真実を教えてくれる。

ねえ、ジュード、涙があなたをどう変えたの、目がヒリヒリ涙があなたをどう冷やさせる。

私があなたに贈れるものはないけれど、あなたは私達に歌ってくれる。いつもあなたと共にある歌を。

(解説)

ジョン・レノンには、最初の妻シンシアとの間にジュリアン君と言う息子がいました。彼は、アップル社のスタジオによく遊びに来ていました。やがてレノン夫妻にりこんだ騒動が勃発。落ち込んだジュリアンを励ますと、ポールが書いたのが、「ヘイ・ジュード」でした。1968年に発表されるや各国でヒット・チャート1位に登場します。日本語の訳詩は、男女の恋愛詩になっていました。

六〇年代末、チェコ、当時はチェコスロバキアは、「ブラハの春」という民主化運動のただ中にありました。「ヘイ」をカバーしたのはマルタ・グビジョアという若い女性歌手でしたが、民主化のシンボルソングになり、デモの愛唱歌になりました。

ブラハの春は、民主化を求める「二千語運動」という署名活動になります。これにマルタは署名します。64年の東京オリンピック体操女子で総合優勝したベラ・チャスラフスカも署名します。

その結果、マルタは音楽界をベラは体操界を追放され、日々の食費にも事欠く困窮した生活に突き落とされます。ブラハの春は、ソ連軍の戦車に蹂躪され、つぶされます。人々はマルタのレコードをビニール袋に入れて庭に埋めました。

20年の歳月がすぎて、ベルリンの壁の崩壊に始まる、東欧諸国の民主化革命が始まります。「ピロード革命」と呼ばれたチェコの革命は、平和裏に親ソ政権を倒し、かつて二千語運動をリードした劇作家ハベルを大統領とする政権を打ち立てました。ブラハの人々は庭を掘り起こし、マルタのレコードをききました。マルタはブラハ大学の学園祭に招かれます。歌った歌は、もちろんヘイ・ジュードでした。

この稿は、公にされている情報を構成・編集しました。米今

(余話) 詩・歌は社会と時代を映し、社会と時代を照らします。書家としては、良い詩・歌を書き続けたいものです。

2023年2月23日

米今至峰